



ステイトメント
地域を通して、
これからの「はたらきかた」を探す

世田谷ものづくり企業探訪 Vol.01

後藤醸造

経堂から地域の暮らしに根ざす循環を。
後藤醸造のクラフトビールづくり

世田谷ものづくり企業探訪 Vol.02

INDICE 世田谷DENIM LAB

メイドインジャパンの縫製工場を後世に。
世田谷DENIM LABが描く縫製職人の未来

IID入居者インタビュー

dot button company株式会社

世田谷ワークスペースMAP



地域を通して、これからの「はたらきかた」を探す

みなさんは、数年前にこんな言葉を耳にしたことはないでしょうか？

「2011年度にアメリカの小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」

これは、米デューク大学の研究者であるキャシー・デビッドソン氏が2011年8月、ニューヨークタイムズ紙のインタビューで語った予測で、日本の中高・大学をはじめとして、産官学の各界に衝撃を与えたそうです。

この予測はもちろん、アメリカだけに限ったことではありません。日本でも社会構造やIT技術の変化とともに、日々新しい価値観や職業が生まれています。

ぼくはこの言葉を聞いた瞬間、ある過去の経験を思い出しました。

ちなみにぼくは第二次ベビーブーム世代で、バブル崩壊後に大学を卒業した「失われた10年」の世代ですが、子供の頃に両親がいつも言っていた「有名な大学を出て、大企業に就職すれば安泰」という価値観がすでに通用しなくなっていることに、社会に出てから初めて気づきました。

そして日本の教育の仕組みは、いまだに戦後から大きくは変わっていません。

おそらく各家庭の中での大人たちの意識も、いまだに自分達が育った時代の価値観を引きずりながら子供たちに物事を教えていることは多いはずだ。

教育に関わる人々や家庭内の価値観をアップデートしたり、これからの未来を担う子供や若い人達が、来たるべき未来や、今は存在しない

職業に対応できる価値観や「はたらきかた」のヒントを得るにはどうしたらいいのでしょうか？

IID世田谷ものづくり学校は、今年で16年目を迎えるにあたり、次の時代を担う人材や新しいビジネスに挑戦したい人が多様な働き方を実験できる場になるべく、従来の賃貸ワークスペースや創業支援ブース(インキュベーションスペース)、コワーキングスペースに加えて、IID LOUNGE(ドロップイン型ワークスペース)、など、様々な形態の職場を用意しています。

そんな中、ぼくはIID世田谷ものづくり学校の企画担当として、IIDの中と外をつながながら場を盛り上げるイベントなどを主催しています。その活動の6年間の過程で、自然と地域の経営者やクリエイター、行政関係者などと会話が多くなりました。

その中でよく話題になるトピックは、「世田谷らしさとは、世田谷らしい働き方とは？」という問いです。

この手の問いには、大きな声では言えませんが「地図上に引かれた線なんて、ぶっちゃけどうでもよくない？」と思うことも正直あります(行政関係者の方、すいません)。

ただやはり地域を盛り上げる上で、そのエリアの特性を掴むことは本当に必要なことなんですよね。

そこで思い浮かぶ答えのヒントは「世田谷らしさ」、「〇〇業」といった業種にあるのではない」ということ。

もっと言えば、住宅地や商店街の中に馴染みながら、小規模だけど独創的、都心だけどころローカル感のあるその「はたらきかた」にあるのではないのでしょうか。

ここで敢えて「はたらきかた」と書いているの

は、従来型の「働き方」という、なんだか堅くて、つらくて、時間の切り売りのな、いわゆる「労働」とははっきり区別したいから。

もっと柔らかくて、楽しくて、趣味や遊びと切り離せないような、未来の「はたらきかた」がこの世のどこかに存在するんじゃないだろうか？

今回IIDのフリーペーパーをリニューアルしたのは、そんな仮説をフィールドワークの中で実証していくためでもあります。

その実証の過程を知ってもらう為にも、webやフリーペーパーのようなメディアを通して、IIDや世田谷を中心に**新しい「はたらきかた」をつくりだしている人達**について地域に発信していく予定です。

幸いにもこの世田谷という地域には、住宅地や商店街の中に根付きながらユニークな働き方をしているプレーヤーがたくさん存在します。

そういった方々の仕事や価値観を紹介しながら、これからの「はたらきかた」のヒントを得られるコンテンツにしたい。

そんな思いをもって、このフリーペーパーを発行していきます。ぜひお時間ある時に目を通してみてください。

IID世田谷ものづくり学校 企画ディレクター
石塚 和人



石塚 和人 | IID世田谷ものづくり学校 企画ディレクター。早稲田大学商学部卒業。10年以上に渡り、アクセサリブランドやジュエリーメーカーにて企画・デザイン・設計などを手がける。その中で3DプリンターやCADなど新しいものづくりの手法を研究するうちに、FabLab(ファブラボ)やコワーキングスペースなどの場に興味をもつ。2015年には世田谷区の廃校を活用した複合施設であるIID世田谷ものづくり学校の企画担当として入社。現在は企画ディレクターとして、世田谷を中心とした産業振興・創業支援・地域交流などをテーマとしたイベント・セミナー・ワークショップを多数企画・実施している。



— 这些年「クラフトビール」、いわゆる大手メーカー以外の地域密着型で小規模な醸造所で造られるビールが人気を博しています。各地でもバーやコンビニといった場所で、クラフトビールを見かけるようになってきました。実は世田谷にも、クラフトビールをオリジナルのレシピで製造し、「ブルーパブ (brew pub)」を運営する後藤醸造さんがあります。ブルーパブとは、店内に醸造所を併設し、造りたてのビールが飲める店舗を意味します。今回はオーナー夫妻の後藤健朗さんと後藤ゆきこさんにお話を伺ってきました。

ものづくり好きな夫妻がクラフトビールを始めたきっかけ

石塚 (以下、I) : お久しぶりです。当施設主催の異業種交流会「TOKYO ものづくりセッション」でケータリングをお願いして以来ですね。まずは、お二人のブルーパブ経営までの道のりを教えていただけますか？ ちなみにお二人は区内にキャンパスを置く東京農業大学のOB・OGなんですよ。

健朗さん (以下、K) : はい、私は農大を出た後、関東日本フードという食肉卸会社に入社しました。勤務先となった山梨県で7年間営業を担当していました、その頃にたまたま飲んだのが、「アウトサイダーブルーイング」さんという醸造所に感銘を受けたんです。

I : どんな醸造所だったんですか？

K : 「アウトサイダーブルーイング」さんは、元洋服屋さんの2階建ての建物をDIYで醸造所にしていました。当時はビール工場という大きなプラントのような所を想像してたんなんです。自分の手を入れた場所で、自分がつくり出した物をお客さんに提供するもの

いいなと思ったんですよね。

I : 昔からDIYやものづくりは好きだったんですか？

K : そうですね。あとは自分のこどもへ将来自分がつくった物を見せてあげたい、という思いもありました。

I : ゆきこさんはそんな健朗さんのそばで見ていてどうでしたか？

ゆきこさん (以下、Y) : そういえば学生の頃から料理でも大学の文化祭の作り物でも、彼は時間さえあれば1人でコツコツやってた気がします。料理もそうですが、大抵のことは独学でトライしているみたいで。今考えると彼がものづくりの仕事に辿り着くのは自然な流れだったんじゃないでしょうか。

クラウドファンディングも大成功！地元からも注目を浴びるクラフトビール

I : 最近の後藤醸造さんの近況はいかがでしょう？

K : オープンして4年目を迎えますが、2018年4月にプロジェクトをスタートした瓶ビール「経堂エール」のクラウドファンディングが、好評のうちにひと段落しました。おかげさまで目標金額の200万円を165%も上回る330万円以上が集まりました。

I : その達成率はすごいですね！

Y : その資金で無事に瓶ビール造りに必要な資材などを購入できました。現在もクラウドファンディングで支援してくれた方へのリターン (返礼品・体験イベントなど) を今も実施している最中です。

I : 「経堂エール」発表後の評判はいかがですか？

Y : クラウドファンディングや世田谷みやげ※



【後藤醸造】
営業時間：
水～土曜 15:00～22:30 (L.O. 22:00)
日曜 13:00～21:30 (L.O. 21:00)
定休日：月・火曜
住所：世田谷区経堂2-14-3 経堂OKコート1F
TEL: 03-6751-0698
☎ 📷 📱 📍

※本記事はIID世田谷ものづくり学校のWEBサイトに連載中のシリーズを編集したものです。

※世田谷みやげ・・・世田谷区内のさまざまなお店から、世田谷にゆかりのあるお店自慢の逸品を募集し、「世田谷みやげ」として指定しているもの。(公財)世田谷区産業振興公社が主催。

52
クラフトビールの根ざす循環を。
後藤醸造のクラフトビールづくり
経堂から地域の

世田谷
ものづくり
企業探訪
Vol.01



加入のおかげなのか、このところの地域からの注目度が上がった気がします。小田急沿線の地域誌から掲載依頼が来たり、近隣の方がふらっとビールを飲みに来てくれたりもします。

I: ちなみにクラウドファンディングに挑戦したきっかけはなんだったんでしょうか？

K: 起業前からクラウドファンディングの存在は知っていました。たしか「ファーストブルーイング」さんという醸造所が実施しているのを何かで見かけた時、これはファン作りと広告宣伝の手法なんだ、と理解したことを覚えてます。

I: 鋭い視点ですね。クラウドファンディングの本質を捉えていると思います。

K: そして開業後1年ほどしてから、お客さんや周囲の方々から『瓶ビールやったら?』と言われるようになったんです。ただ、瓶詰めの機器などを購入する資金が必要だと内心思っていました。

Y: 最初はクラウドファンディングのアイデアを交流会などで周囲に軽い気持ちで話しているうちに、どんどん周りの人に背中を押

されるようになり、いつの間にかやらざるを得ない雰囲気になん(笑)。告知文章の書き方からリターンの設定支援の声掛けまで、本当に色々な人に助けられました。

I: 大変だったことや苦労はありましたか？

Y: 苦労というほどのことはなかったのですが、クラウドファンディングの支援を締め切った後も、リターンの商品発送や瓶詰め体験イベントなどが一年以上続くわけです。今でも支援してくれた人たちへしっかりお礼を還元できているかどうか、という責任感のようなものはいつも頭のどこかにあったりします。

地域の人の暮らしへ根づいた「ものづくり」

I: 後藤醸造さんの展望として、今後チャレンジしたいことはありますか？

K: クラフトビールに加えて、いつかは自家製のソーセージやパンの部門をスタートしたいと思っています。後藤醸造がつくったものを、地域の人の暮らしにもっと深く根ざしていく

のが夢です。

Y: 他にも地域との絡みで言うと、ビールを作る過程で出る麦の廃棄物＝「モルトかす」を肥料や飼料に使えないかと思って、そのことをブログに書いてみたことがあったんです。そうしたら世田谷区内のある農家さんが取りに来てくれて、実際に肥料として使ってくれています。

K: 現在はまだ一軒だけですが、世田谷区内の農家さんに後藤醸造から出たモルトかす

を肥料として使ってもらい、その肥料からできた農作物をうちのバーで食べてもらう、というような世田谷区内での循環が作れないかな、と思っています。

肥料として使ってくれた農家さんは枝豆を育てているみたいです。

I: とても面白いアイデアで、地産地消的な仕組みで有意義だと思います。そういった循環が後藤醸造さんを起点に地域へ広がっていくといいですね。🍷

取材を終えて 後藤醸造さんは、クラフトビールの原材料の一つであるホップも、季節によっては世田谷区内の松陰神社や瀬田付近の畑で収穫されたものを使い「世田谷産ホップのクラフトビール」として提供しています。これも仲良くしている二子玉川のクラフトビール醸造所「ふたこ麦麦公社」さんとの縁がきっかけだったとか。

そんな形で、原材料に関しても世田谷区内での企業同士のつながりが生きているようです。取材中も過去の反省点、これからの展開のアイデアを真剣に、でも笑顔で会話のキャッチボールを楽しんでいる後藤夫妻。後藤醸造さんのアイデアが地域に根ざしながら、経堂地域に広がっていくのがますます楽しみになった今回の取材でした。後藤夫妻が作る世田谷区経堂の地ビールを味わってみたい方は、ぜひ一度お店に足を運んでみてください。



日本の手仕事の職人の減少や高齢化・後継者不足が叫ばれて久しいですが、それはもちろんアパレル業界や縫製職人も例外ではありません。たとえば、ロール状態の生地から洋服を形にするために、職人は10を超えるミシンと設備を使い分けます。そして実はこれまで東京にはデニム1本を作る全ての工程を縫える設備を揃えた工場がほぼありませんでした。その理由はシンプルで、製造コストが原因。洋服作りをめぐる現場が厳しい価格競争にさらされてきたせいで、服作りの現場は日本から中国に移り、今ではベトナムやカンボジアといった新たな国へ移りつつあります。

そんな状況に対して、アパレル業界を下支えする縫製職人を育てる場や、縫製職人の雇用が地域に生まれる場所を東京に作りたい、そんな思いをもった業界の方々たちが立ち上げた場が、世田谷の桜新町にあります。

アパレルの生産現場の環境を少しでも良くしていきたい

東急田園都市線の桜新町駅北口を出て歩くこと数分。路地裏の古い建物を改装した場所に、デニムサンプル工場「INDICE (アンジーズ) 世田谷DENIM LAB」はひっそりと建っています。今回は、この場を立ち上げたメンバーである営業部の藤本さん、生産部部長兼技術顧問の戸田さんに話を伺いました。

「INDICE」とは、フランス語で「糸口」という意味で、アパレルの生産現場の環境を少しでも良くなるように思って立ち上げる際にきっかけ(糸口)になればいいと思ってこの名をつけたとか。そしてミシンの針に糸を誘導するパーツも「糸口」と呼ばれるそうなので、その意味もあるそうです。立ち上げたメン

バーの思いがこの名前に込められているのが伝わってきます。ちなみにこのサンプル工場は2017年の7月頃に立ち上げたそうです。築50年以上の元お肉屋さんの建物をスタッフの皆でDIYし、ようやく今のサンプル工場が出来上がりました。

採用は地元の人たち、働き方も柔軟に

スタッフの採用は、できる限り地域の方を採用する為に、人材募集サイトでの公募だけではなく、建物の外にスタッフ募集の貼り紙もしたとか。

「子供がいるお母さんでも働きやすいように、あえて勤務形態もフレキシブルにしているんです」と語る藤本さん。そしてラボ内の技術指導を一手に引き受けるのが、サンプル縫製職人としての豊富な経験を持つ、戸田美代子さんです。

縫製業界の課題解決のために

戸田さんはメゾンブランドからアーティストのステージ衣装まで、デザイナーと密な関係での洋服作りを手掛けて40年、ベテラン中の大ベテラン。戸田さんの本来の職場は広島にある縫製工場なのですが、世田谷DENIM LABへの参画にあたって、月に一回ほど広島から通われているとか。戸田さんのこの事業に対する熱意が伺えます。

そして世田谷DENIM LAB内で全てのデニムの縫製工程をこなせるようにしているのは、縫製業界のもう一つの問題と関連しています。縫製業界は基本的に分業制。新たなパーツの工程を覚えるには時間を要するため、ポケット担当はポケットのみ、ベルト

縫製職人の未来
DENIM LABが
インジャパンの
場を後世に。
世田谷のづくり
企業探訪
Vol.02



【INDICE 世田谷DENIM LAB】

住所：世田谷区新町2-6-16
TEL：03-6320-1494



※本記事はIID世田谷ものづくり学校のWEBサイトに連載中のシリーズを編集したものです。



IID RESIDENT INTERVIEW

IID入居者インタビュー



「体験を開発する会社」として、全国を舞台に地域を盛り上げる事業を手掛けるドットボタンカンパニー。創業時にもつくり学校の創業支援ブースに入居し、現在は拡大に伴い一般ブースの202号室に居を構えています。今回は代表である中屋祐輔さんに、これまでのキャリアから考える「はたらきかた」について、お聞きしました。

「体験を開発する会社」
ドットボタンカンパニー株式会社の
変化しつづける「はたらきかた」

偶然の連続からマーケティングの道へ

石塚(以下、石): まず中屋さんの最初の仕事は？
中屋(以下、中): 大阪の音楽専門学校に通いながら始めたアパレル小売企業の店舗アルバイトですね。頑張って契約社員、正社員、副店長と順調にきて。ある日、突然のトラブルが起き、急遽店長に就任されることになります。当時の店舗は年商5億、スタッフ約40名の規模でした。
石: 急ですね(笑)。
中: 免許とりたての人間がいきなりF1レースに出るような気分でした(笑)。一緒に働いたスタッフのおかげもあり、売上は伸びて、さらに他の店舗も任せられることになりました。
石: そこで結果を出すのはすごい。
中: ただ、人を指導する立場に立った際、同時に自分の無知さに気づいたんです。そこでビジネス書やマーケティングの本を1日1冊読むことに決めました。
石: すばらしい。そもそもアパレル業界に入ったきっかけは？

中: 洋楽を聴きながら仕事ができるという単純な動機です。当初は、ファッションや小売に強い興味があったわけでもなく。
石: ここまでは強い意思を持って進むというよりはその時の環境や流れに乗りステップが上がってる気がします。
中: 意思を持ってアクションすることは、音楽活動の挫折で済ませていたので。
石: そうでしたか。
中: 与えられた場所で存在感を出したいという想いが強かったのかも。その後、本社のマーケティング事業部へ配属になり、東京へ。大卒や生え抜きの社員が大多数の中、ぼくは「雑草」と呼ばれていました(笑)。
石: まさに叩き上げ。
中: 新製品のプロジェクトを担当した時は、大企業ならではの世間への影響力の大きさを感じたことも。
石: 会社の規模が大きい分、反響も大きい。

ループ担当はベルトループのみ。工場で働く縫い手は自分の担当分野だけを何年も何年も縫い続けます。つまり縫い手は交換可能なオペレーターに過ぎません。

そんな業界にあって、唯一、作り手が一から十まで一人で洋服を縫い上げる「まる縫い」のできる技術を持つのがサンプル制作工場の縫い手。そんな一から十までを縫い上げる縫い手を育成し、世田谷DENIM LABを卒業した後は縫製業界の一部を担う人材になってもらう。「それも世田谷DENIM LABを立ち上げた目的の一つなんです」と藤本さん、戸田さんの二人は語ってくれました。

そしてお話を伺った後は、戸田さんからデニムを縫う各工程のミシンの説明や、リベットやスナップの付け方などまで丁寧に解説していただきました。すべての工程を自ら丁寧に実演してくれた様子からは、ジーンズ作りに長年関わってきたキャリアと自信を感じます。

そして彼らは2019年の1月と5月に、デニム作りの楽しさを世の中に発信するべく、

クラウドファンディングに挑戦しました。洋服作りに興味を持つ学生や、一般の人に少しでも現場を見てもらい、もし希望するなら実際にミシンを触ってほしい。世田谷DENIM LAB 代表 岡本雅行さんのそんな思いから、「デニム職人1日体験」という体験型リターンを中心とした内容で支援募集を開始。見事に目標金額を上回る金額を獲得した彼らは、同時にこの「世田谷DENIM LAB」という場を世の中に広めることにも成功したようで、このプロジェクトをきっかけに日本経済新聞や織研新聞などのメディア露出も増えたとか。もちろんぼくがこの取材をするきっかけになったも、このクラウドファンディングのお知らせからでした。“業界に必要な後継者の育成と、地域の雇用の創出。” 彼らのやっていることを言葉で簡単にまとめてしまうとそうなりますが、もちろんそれだけでは表現しきれない、縫製業界やジーンズ、そしてものづくりに対する強い愛情をこの場から感じた今回の取材でした。

取材を終えて 一本のデニムを縫いあげる為に、こんなに沢山の工程と機器が必要になるという事実をあらためて知り、ふだん履いているデニム1本の価値を再認識した僕。業界の課題を解決する為に、世田谷の地に密着しながら活動する彼らを、ものづくり学校としても今後応援していきたいと思います。

中：同時に広告費に何億も予算がつき、代理店を通して沢山のお金と人が動いているのに違和感を感じて「もし自分が全てを担うことができれば」と思ったり。

石：お、少しだけ創業の動機のようなものが垣間みえましたね。

感性からロジックへ、 オフラインからオンラインへ

中：その後、家の事情で地元の大阪へ帰ることになり、IT企業「シナジーマーケティング株式会社」のマーケティング担当として転職しました。アパレル小売企業では「こっちの方がカッコいいよね」的な感性のマーケティング。けれど転職先はロジカルで定量的なものが全て。最初は苦勞しましたが、そこでシステム思考やロジックを学びました。

石：同じマーケティングでも180度違う。

中：クライアントへ提案する側になったことも大きな違いでした。APIとかHTMLの知識もない状態で入社したので現場で学ぶ毎日。さらにある日、「Yahoo!のグループ会社になる」と発表があり、そのままYahoo!がおこなう地域プロジェクトを担当することに。

石：やはり中屋さんのこれまでのキャリアからは、良い意味で流されながら対応していく柔らかい印象を感じますね。

中：その場で懸命に考えて、答えを出し続けた人生ですね。辞めた後も前職との良い関係を保つことで、全てのキャリアが資産になっています。そういえば子供の頃、商売人だった父親とお風呂に入っていた時に言われたことがあって。「湯船でお湯を欲しがって自分に寄せようとするのを逃げていくけど、お湯を相手に送ろうとしてみる。暖かいお湯が自分に返ってくるやろ？」って。

世の中にない必要な会社は自分がつくる

中：2016年からは、熊本地震の復興支援団体

「BRIDGE KUMAMOTO」の立ち上げに深く関わるようになりました。

石：それは当時働いていたシナジーマーケティングとして？

中：いえ、個人的な活動として参加しましたが、これをきっかけに熊本県で活動する別団体から本業のシナジーマーケティングとしても仕事を受けることになりました。ただ、IT企業としては受けきれない部分も出てきたんです。

石：それはどういった部分？

中：地域で頑張る小規模事業者さんの商談会や飲食店のポップアップなど、いわゆるオフラインの事業です。結局外注しましたが、自分としてはプロジェクトが分断されたように感じて。それを一つの形でできるようにするには、という問いの答えが「起業」でした。

石：そうだったんですね。

中：地域の課題ってITだけでは解決できないことも多い。そこで自分のこれまでの経験からオンとオフの仕事を融合したいと考えたとき、それをできる会社が思いつかなかった。

石：世の中に無ければ自分でつくるしかない。

世田谷で起業し、世田谷ではたらく

石：2017年に「ドットボタンカンパニー株式会社」を立ち上げ、IID 世田谷ものづくり学校のオフィスに入居したわけですが、入居の経緯を教えてください。

中：池尻でアパレル企業「ALL YOURS」を立ち上げた原さんと木村さんからすすめもあり、まず僕自身が池尻に引っ越しました。彼らはアパレル小売企業時代の先輩と同僚だったんです。その後、同じ前職と一緒にお仕事した方が、ものづくり学校のオフィスに入居していて、見学に行ったことがきっかけ。映像制作会社「HIROBA」代表の宮部さんです。

石：初めて知りました。

中：自然や学校が近くにあるIIDの環境が、地域のことを考える自分たちの事業に合っていると



思い、入居を決めました。

石：最初は創業者向けオフィス「創業支援ブース」に入居されたんですね。

中：はい。現在は事業が拡大し施設内の広いオフィスに移りました。IIDだと自宅も近かったので職住近接という利点もあります。

石：「職住近接」という言葉が出ましたが、今、働き方改革と新型コロナウイルス感染症の影響で働き方の変化に注目が集まっています。

中：僕たちはオンラインとオフラインの仕事をしているので、社員が柔軟に対応してくれたこともあり、リモートワークへスムーズに移行できました。



※取材は2020年3月におこなわれたものです。

石：オンとオフのバランスの良さが活かされましたね。

中：オンとオフ、民間と自治体など、どちらかに特化したビジネスはありますが、これからは「変化し続けられる」働き方というものが必要なかもしれません。特に今のような世界的に不確実な状況の中で生き残るためには。

石：中屋さんのキャリアとびったり重なる言葉ですね。最後に今後の展望を教えてください。

中：一つは地域の困りごとの解決。もう一つはまちづくり。今後は中山間地域での観光コンシェルジュや、道の駅のプロデュースがスタートする予定です。そして今まで様々な地域で行った事業をスケールさせて、それらを繋げていきたいです。あと、特別意識している訳ではないですが、社会課題の解決を仕事にすることで、SDGsについての理解を深めたいと考えています。

石：あくまで今までの延長線にある事業を上げながら、点と点を互いに繋げていくということですね。まさにドットボタンカンパニーという社名にふさわしい展望を開けた気がします。

取材を終えて 今回感じたのは、中屋さんのその時置かれた環境に対する柔軟に変化する姿勢と、多様な引き出しを事業に活かしていくワークスタイル。まさに一つのことを多様な視点で語れる社会、コミュニティ創りを軸にしている、ドットボタンカンパニーならではの「はたらきかた」の秘訣を垣間見た気がしました。

世田谷ワークスペース MAP

世田谷区内のコワーキングスペースを中心にMAPにしてみました。

現在は下北や三茶に集中していますが、世田谷は住宅が多く、「職住近接」が実践しやすい地域。

他エリアにも、いろんな形式のワークスペースが増えていっても面白いかもしれませんね！

※ドロップイン=利用1回毎で料金を支払う形式。 ※料金は税別表記

01 Studio Rakki (工房楽喜株式会社)

▲ 世田谷区喜多見9-18-8 スカイホワイト喜多見101
 ⌚ 12:00～20:00
 🗓 不定休
 ☎ 03-5761-5188 (営業時のみ)
 📄 月額: 無
 ドロップイン: 455円/2時間～
 備考: 週2日程度営業。営業日はWEBサイトでご確認ください。



02 にこたまデスク(女性専用)

▲ 世田谷区瀬田4-14-3 シェ・メール・モリー1F
 ⌚ 10:00～20:00
 🗓 無
 ☎ 03-5491-8523
 📄 月額: 無
 ドロップイン: 500円/2時間、1,000円/日



03 Catalyst BA / co-lab 二子玉川

▲ 世田谷区玉川 2-21-1 二子玉川ライズ・オフィス 8F
 ⌚ 24時間
 🗓 無
 ☎ 03-6362-3443
 📄 月額: 13,000円～
 ドロップイン: 無



04 下高井戸ワークスペース iNVENTO

▲ 世田谷区松原 3-30-10-2F
 ⌚ 9:00～20:00
 🗓 無
 ☎ 03-6413-0054
 📄 月額: 13,000円～
 ドロップイン: 750円/3時間、1,500円/日



05 下北沢オープンソース Cafe

▲ 世田谷区代田6-11-14 G1
 ⌚ 10:00～20:00
 🗓 金
 ☎ 070-5431-5221
 📄 月額: 12,000円～
 ドロップイン: 1,500円/日
 備考: 休業中 ※2021年4月以降に再開予定



06 BONUS TRACK MEMBER'S

▲ 世田谷区代田2-36-15 BONUS TRACK中央棟2F テナント4/SOHO10
 ⌚ 10:00～19:00
 🗓 水・日
 📄 ドロップイン: 無
 お散歩プラン: 15,340円/月
 ※スペースから約5km圏内にお住まいで徒歩・自転車から来られる方向けプラン
 (4月から3ヶ月限定で運用予定)



07 三茶 WORK

▲ 世田谷区太子堂2-17-5 3F/4F
 ⌚ 24時間
 🗓 無
 📄 月額: 14,000円～
 ドロップイン:
 1,000円/18:00～22:00(平日のみ)
 3,000円/9:00～22:00



08 IID 世田谷ものづくり学校

▲ 世田谷区池尻2-4-5
 ⌚ 24時間 (ドロップインは9:00～19:00)
 🗓 無
 ☎ 03-5481-9011
 📄 月額: 15,000円～
 ドロップイン: 300円/時、2,000円/日(世田谷区民は半額)



09 SANCHACO

▲ 世田谷区太子堂4-6-6
 ⌚ -
 🗓 -
 📄 -
2020年6月オープン予定



10 子ワークスペースチャチャチャ

▲ 世田谷区太子堂2-16-7 世田谷産業プラザ2F
 ⌚ 9:00～17:00
 🗓 土日祝
 ☎ 03-3411-6604
 📄 月額: 無
 ドロップイン: 305円/1～4時間、509円/5～8時間



11 THE FORUM 世田谷

▲ 世田谷区上馬5-15-15
 ⌚ 24時間
 🗓 無
 ☎ 03-6868-8272
 📄 月額: 63,500円～
 ドロップイン: 無



12 まんがの図書館ガリレオ

▲ 世田谷区三軒茶屋2-14-10 2F
 ⌚ 10:00～25:30(金土～5:00)
 🗓 無
 ☎ 03-3411-6906
 📄 月額: 無
 ドロップイン: 200円/30分～



※2020年4月時点の情報です。今般の新型コロナウイルスの影響により臨時休業するスペースもありますので、ご利用前に各スペースへ直接お問い合わせください。

IID 世田谷ものづくり学校のドロップイン型ワークスペース

IID LOUNGE



IID LOUNGE は、スタートアップビジネスをサポートするスペースで、1時間単位からご利用可能です。利用会員向けに、当施設と提携した各専門分野の創業エキスパートのご紹介もしております（弁護士・社労士・知財コンサルタント・クラウドファンディング事業者 など）。

近隣にお住まいの方から起業準備中の方、フリーランスなど、お気軽にご利用ください。

利用時間 9:00～19:00

休業日 年末年始 / イベントでの貸切予約時

料金 300円 / 時、2,000円 / 日 **《世田谷区民半額》**

利用方法 予約・支払いは専用アプリ「KEYBOX Go」からお願いいたします。



↑ 詳しいご案内はこちら



IID 世田谷ものづくり学校について

閉校となった中学校校舎をリノベーションした複合施設です。かつての教室は「ものづくり」に関連するクリエイター・デザイナーのシェアオフィスやコワーキングスペースとして運用し、講座や交流会、マッチングなどの創業・事業サポートや区内産業活性化につながる活動も積極的におこなっております。



フェイスシールド配布プロジェクト

配布先

20/6/5 現在

合計501個



【世田谷区内】

- ・東京医療センター 100個
- ・世田谷健康づくり課保健福祉センター健康づくり課 25個
- ・多摩川総合支所保健福祉センター健康づくり課 20個
- ・世田谷区北沢総合支所保健福祉センター健康づくり課 30個
- ・烏山総合支所健康づくり課 30個
- ・まりあ歯科 10個
- ・いば小児科 2個
- ・あんどろクリニック 8個
- ・松村医院 15個
- ・株式会社トータルライフケア 19個
- ・ほほえみの木々 6個
- ・浜中歯科クリニック 3個
- ・世田谷法務局 2個
- ・遠藤医院 4個
- ・野口歯科医院 6個
- ・すまいる梅ヶ丘 15個
- ・田代内科クリニック 10個
- ・ながよしクリニック 6個
- ・桜新町アーバンクリニック 20個

【世田谷区外】

- ・有秋台医院 20個
- ・千葉県こども病院 100個
- ・イークリニック麻布他都内医院 50個

世田谷区 × NTT 東日本 × IID 世田谷ものづくり学校

オンライン面接 を受けるための レンタルスペース [Yell Room]

エールーム



IID 世田谷ものづくり学校のミーティングルームをオンライン面接に活用しませんか。「Yell Room(エールーム)」は就活中の学生や就労希望者に向けたサービスです。事前予約によりPCなどを持ち込まずに、手ぶらでご利用いただけます。



世田谷区・NTT東日本・IID世田谷ものづくり学校から 世田谷の就活生へエール!!

Yell Room

オンライン就活・面接サポートルーム [エールーム]

Web面接の増加傾向など社会環境の変化に伴い、
就活、オンライン面接の環境を求める就職活動中の学生や
就労希望者を応援するためオンライン就活が可能な
スペース「エールーム」の提供を行います。

「エールーム」は、パソコン・マイク・カメラを常設したスペース。
事前予約により手ぶらで就活・オンライン面接が可能です。

[期間] 2020年8月20日(木)～2021年3月31日(水) [料金] 1時間200円(学生半額)

[対象] 世田谷区内在住者・区内在学者 [場所] IID 世田谷ものづくり学校 Meeting Room1,2

設備内容

ダミーテーブル 1台(幅150cm×奥行80cm)／椅子:8脚(背もたれ付椅子4脚+丸椅子4脚)／ホワイトボード／32型テレビ(TOSHIBA REGZA 形名19/24/32S22)／Wi-Fi (So-net光プラス・最大100Gbps)／エアコン(CORONA 型式CSH-N2219R)／延長コード(3本)／スマホ充電器(iPhone、Android)／HDMIケーブル(USB-C変換コネクタ有)

ご利用の流れ

●ご利用可能時間:午前11時～午後7時(年末年始を除く)●ご利用後に料金をお支払い下さい。(現金・電子IC・クレジットカード可) ●当日は住所が分かる証明書(保険証、運転免許証、学生証など)及び面接の予定が分かるもの(メール、書面可)をご持参下さい。 ●カレンダー(<https://setagaya-school.net/rentalspace/top>)より事前に空き状況をご確認下さい。

メールご予約

氏名/利用時間/電話番号を
明記し、件名を「オンライン面接」
として下記メールアドレスへ
お送りください。

facility@r-school.net

ご予約完了

ご予約メール受領後、
内容を確認し
IID事務局担当者より
メールにて「予約受付完了」の
ご連絡をいたします。

当日のご利用

ご予約日時に
直接 IID 世田谷ものづくり学校
事務局 (113号室)までお越し下さい。
当日スタッフが
ご案内をいたします。

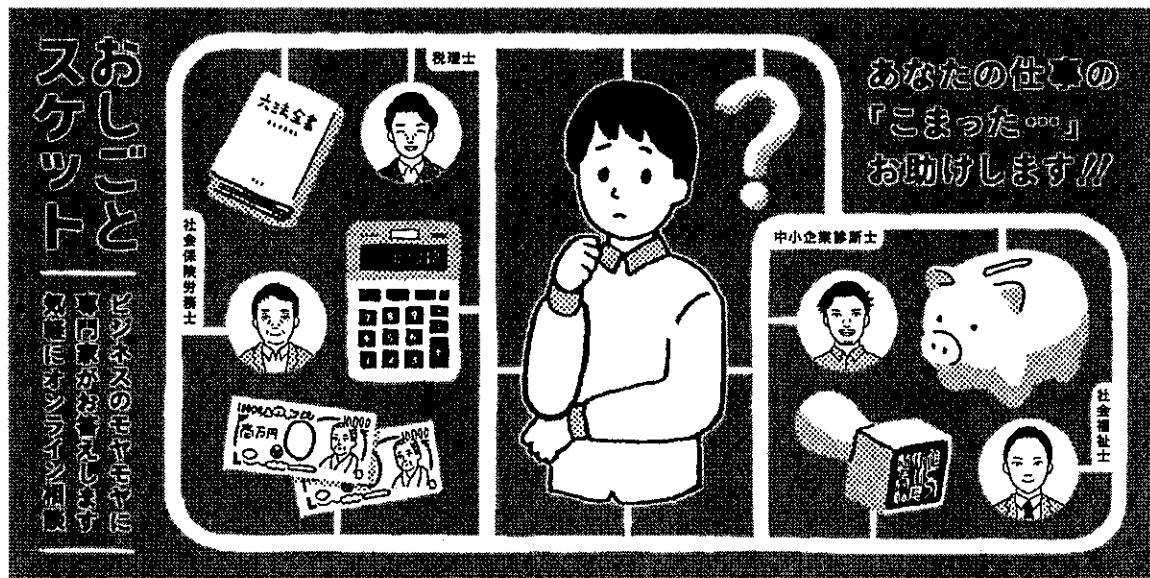
ニュース

HOME ニュース: 一覧 おしごとスケッチ | あなたの仕事の「こまった…」 お助けします!!

ニュース一覧

オフィススペース お知らせ

おしごとスケッチ | あなたの仕事の「こまった…」 お助けします!!



IID 世田谷ものづくり学校では、創業支援サービスとして「IID 創業エキスパートサポート」を展開してまいりました。4月からは名称を「おしごとスケッチ」と変更し、創業・起業に関する悩みをはじめ、ビジネスに関する様々な困りごとをオンライン相談できるサービスとしてリニューアルします。

オフィススペース

- コワーキングスペース
- IID LOUNGE
- 創業支援ブース
- 一般オフィス

レンタルスペース

- 初めてご利用される方へ
- 2-A教室
- Studio
- Meeting Room 1,2
- Entrance
- IID Gallery
- 共用部
- FabLab Setagaya at IID
- よくあるご質問

イベント

- 今後のスケジュール
- 過去のスケジュール
- 2016年以前のアーカイブ

入居者

- 入居者一覧
- 入居者新着情報
- フレンド一覧

フロアガイド

- 1st Floor
- 2nd Floor
- 3rd Floor

読みもの

- EVENTレポート
- せたがや、はたらきかた。
- Setagaya Things
- フリーペーパー
- 2016年以前のアーカイブ

小林 裕一郎

株式会社KuMu 代表取締役

大学卒業後、一般企業勤務を経て社会福祉士取得。都内救急病院では常勤医療ソーシャルワーカー（医療連携相談室長、地域連携センター長）、横浜の心理センターでは心理カウンセラー（プリーセラピスト）として活動。

社会福祉士育成学校での非常勤講師、東京都福祉保健局退院・転院支援検討部会委員、東京都医療社会事業協会理事、介護認定審査委員など社会福祉・保健システムの設計や教育経験多数あり。

2018年株式会社KuMuを設立。一部上場企業などでのインダストリアルソーシャルワークを中心事業とし、救急病院や診療所、訪問看護ステーション等の組織運営およびコンサルタント、産業能率大学・短期大学では通信教育課程の兼任教員も務めている。

▶ [「KuMu」について \(pdf\)](#)

[WEBサイト \(KuMu\)](#)

中小企業診断士

佐藤 一樹

ビジネス・インスピレーター

13歳から24歳までの間アメリカで過ごし、Georgia Institute of Technology 経営学部卒業。帰国後15年以上、博報堂やビーコンコミュニケーションズといった広告代理店で、ブランドコンサルティングなどの職務に従事。

2013年に中小企業診断士の資格を取得し、2015年に独立開業。新規事業を立ち上げるということは新ブランドを立ち上げることであるという観点で、ブランドコンサルティング業を営む。新事業コンセプト開発、ビジネスモデル構築、組織設計、DX、インターナルブランディング、プロモーションなどの分野が得意。

弁護士

恩田 俊明

ライツ法律特許事務所

2009年司法試験合格後、2010年松尾千代田法律事務所を経て、2012年工藤一郎国際特許事務所へ入所。各種知財の権利化・活用支援業務に従事し、2015年GVA法律事務所へ入所。2016年弁護士登録を行うとともに、規模感・業態を問わず多くのベンチャー企業の支援業務に携わる。

[WEBサイト](#)

[ニュース](#) [IIDについて](#) [アクセス](#) [採用情報](#) [お問い合わせ](#)

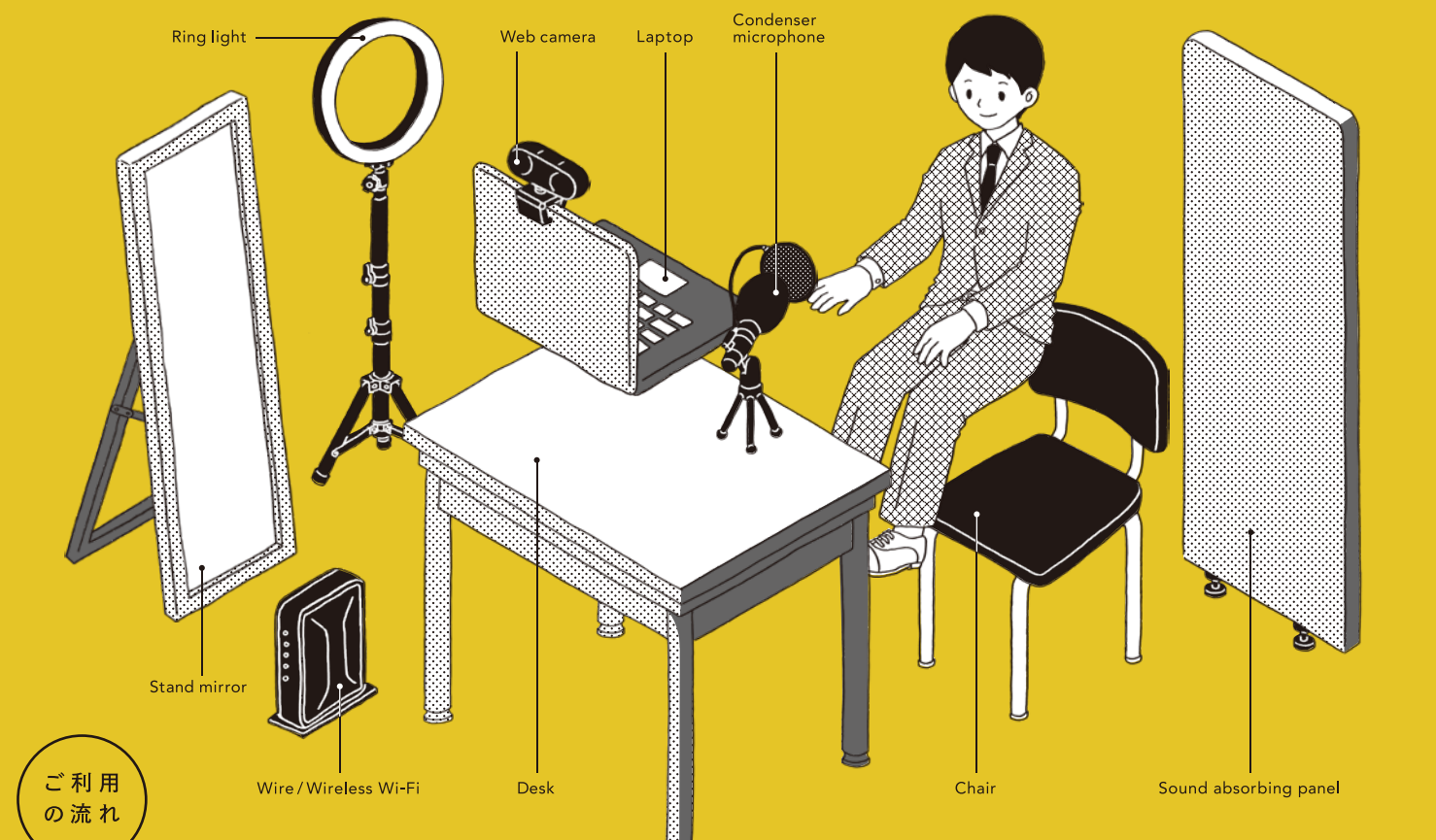
オフィススペース	レンタルスペース	イベント	入居者	フロアガイド	読みもの
コワーキングスペース	初めてご利用される方へ	今後のスケジュール	入居者一覧	1st Floor	EVENTレポート
IID LOUNGE	2-A教室	過去のスケジュール	入居者新着情報	2nd Floor	せたがや、はたらきかた。
創業支援ブース	Studio	2016年以前のアーカイブ	フレンド一覧	3rd Floor	Setagaya Things
一般オフィス	Meeting Room 1,2				フリーペーパー
	Entrance				2016年以前のアーカイブ
	IID Gallery				
	共用部				
	FabLab Setagaya at IID				
	よくあるご質問				

[Yell Room]

エールーム

手ぶらで簡単オンライン面接

「エールーム」は、オンライン面接の環境を求める就職活動中の学生や就労希望者を応援するスペースです。パソコン・マイク・カメラを常設しているので手ぶらでオンライン面接が行えます。また、企業説明会への参加やWeb試験、合同面接会などオンラインを通じた様々な就職活動にもご活用いただけます。



ご利用の流れ

メールご予約	ご予約完了	当日のご利用
件名を「オンライン面接」とし、氏名/利用時間/電話番号を記載の上、 facility@r-school.netまでお申し込みください。	ご予約メール受領後、内容を確認し、担当者よりメールにて「予約受付完了」のご連絡をいたします。	ご予約日時にIID世田谷ものづくり学校事務局(113号室)まで直接お越し下さい。当日スタッフがご案内をいたします。

詳しくはこちら



[料金] 1時間200円(学生半額) [対象] 世田谷区内在住者・区内在学者
 [場所] IID世田谷ものづくり学校 Meeting Room1,2内
 [お問い合わせ] Tel:03-5481-9011/Mail:facility@r-school.net
 〒154-0001 東京都世田谷区池尻2-4-5 113号室 (IID 事務局)

